

令和7年度学力調査結果について

(全国学力・学習状況調査 概要)

令和7年8月

益田市教育委員会

益田市全体の結果概要

I 全国学力・学習状況調査について

1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

- 令和7年4月17日（木）…小学校 国語・算数・理科
中学校 国語・数学
- 令和7年4月18日（金）～4月30日（水）のうち指定された実施日（on-line 方式）
…小学校 児童質問調査
- 令和7年4月14日（月）～4月17日（木）のうち指定された実施日（on-line 方式）
…中学校 理科・生徒質問調査

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

- 国語、算数・数学、理科は、それぞれ次の①と②を一体的に出題
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

(3) 質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 実施学校数・学年・教科等・人数

実施学年 学校数	教科に関する調査			意識調査（人）
	国語（人）	算数・数学（人）	理科（人）	
小学6年生 15校	333人	333人	306人	336人
中学3年生 9校	333人	331人	337人	338人

II 用語

- 「正答率」…各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を全国又は島根県、益田市単位で平均した値
- 「領域」…各教科の学習内容を系統的に示したもの。例えば、算数では「数と計算」「図形」等
- 「無解答率」…教科の各設問において、無解答であった児童生徒の割合(%)

III 公表について

1 公表の内容

教科に関する調査及び生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査について、益田市全体の結果

2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること。

中学校理科については、IRT（項目反応理論）方式で実施のため、IRT スコア（IRT に基づいた各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点）で表示する。

小学校理科については、複数校が複式学級の教育課程（AB 年度）を採用していることから、益田市全体の結果としては公表しない。

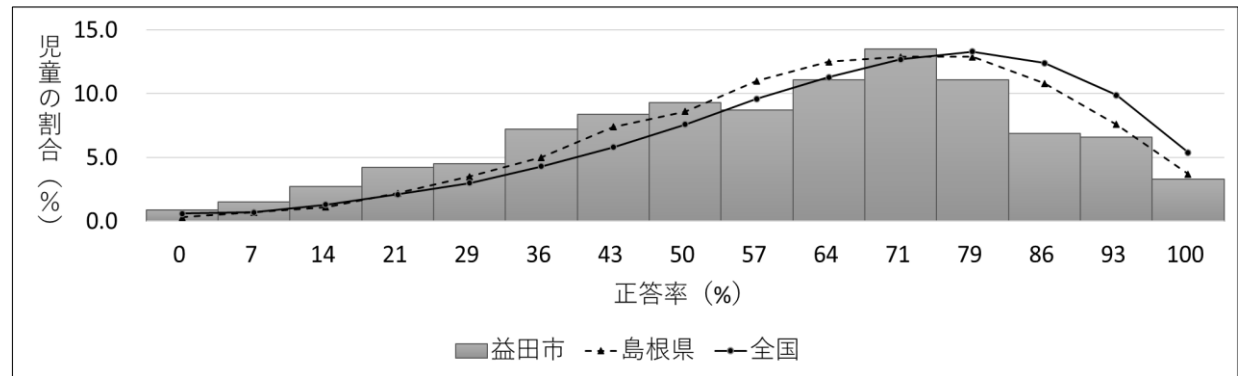
IV 教科に関する調査の結果

1 結果の概要

- ・平均正答率は、小6の国語は全国平均を8ポイント、県平均を5ポイント、算数は全国平均を6ポイント、県平均を3ポイント下回った。中3の国語は全国平均を3ポイント、県平均を2ポイント、数学は全国平均を7ポイント、県平均を5ポイント下回った。
- ・中3理科のIRTスコアは、全国平均を15、県平均を6下回った。
- ・小6国語は全ての内容で全国平均を下回り、「情報の扱い方に関する事項」以外、県平均を下回った。
- ・小6算数は全ての領域で全国平均、県平均を下回った。
- ・中3国語は全ての内容で全国平均、県平均を下回った。
- ・中3数学は全ての領域で全国平均、県平均を下回った。

2 各教科の正答数分布状況と解答状況から特に課題の見られた設問

【小学校6年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

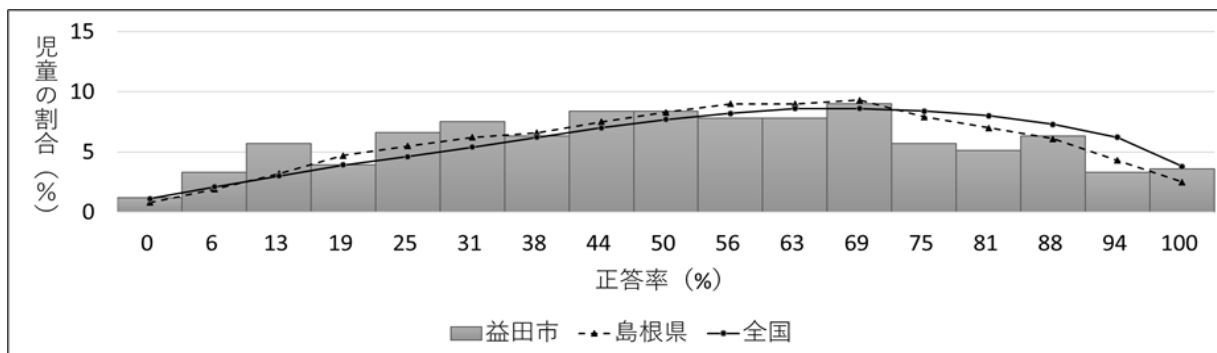


		益田市	全国	益田市－全国		県	益田市－県	
教科総合		59	67	▽	－8	64	▽	－5
内 容	言葉の特徴や使い方に関する事項	70	77	▽	－7	77	▽	－7
	情報の扱い方に関する事項	62	63		－1	59	○	3
	我が国の言語文化に関する事項	76	81	▽	－5	80	▽	－3
	話すこと・聞くこと	58	66	▽	－8	63	▽	－5
	書くこと	60	70	▽	－10	66	▽	－6
	読むこと	50	58	▽	－8	56	▽	－6

- ・市平均正答率は59%であり、全国よりも8ポイント下回っている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」は全国平均とほとんど差がない。
- ・「書くこと」において、全国平均を10ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・【インタビューの様子の一部】で小森さんが発言した目的として適切なものを選択する。(－13ポイント) ・【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。(－9ポイント) ・【ちらし】の書き表し方について、調べたことを基に詳しく書く。(－15ポイント) ・【ちらし】のなかのひらがなを漢字を使って書き直す(このみ)。(－9ポイント) ・【木村さんのメモ】の空欄に入る適切な言葉を資料の中から書き抜く。(－10ポイント) ・【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。(－10ポイント)	・【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く。(7% 差－2ポイント) ・【ちらし】のなかのひらがなを漢字を使って書き直す(このみ)。(11% 差－4ポイント) ・【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す。(あつい日) (7% 差－3ポイント) ・【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。(26% 差－10ポイント)

【小学校6年生 算数】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

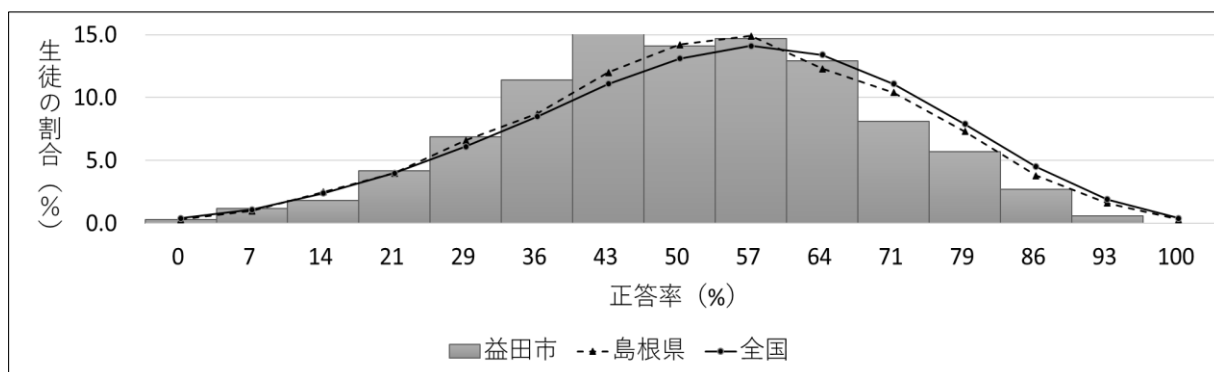


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県		
教科総合		52	58	▽	－6	55	▽	－3
領域	数と計算	56	62	▽	－6	60	▽	－4
	図形	52	56	▽	－4	53		－2
	測定	51	55	▽	－4	53		－2
	変化と関係	52	58	▽	－5	54		－2
	データの活用	56	63	▽	－7	60	▽	－4

- ・市平均正答率は52%であり、全国より6ポイント下回っている。
- ・「データの活用」が全国平均よりも7ポイント下回っており、もともと全国平均と差の大きい領域である。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の全国の出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ。(8ポイント) ・都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く。(7ポイント) ・示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ。(11ポイント) ・示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロッコリー4個の重さを求める式と答えを書く。(7ポイント) ・示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ。(6ポイント) ・方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ。(4ポイント) ・角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ。(4ポイント) ・$0.4 + 0.05$について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く。(7ポイント) ・$3/4 + 2/3$について、共通する単位分数と、$3/4$と$2/3$が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。(7ポイント) ・数直線上に示された数を分数で書く。(7ポイント) ・$1/2 + 1/3$を計算する。(8ポイント) ・使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く。(7ポイント) ・10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。(7ポイント)	・示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ。(8% 差-5ポイント) ・$0.4 + 0.05$について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く。(7% 差-4ポイント) ・$3/4 + 2/3$について、共通する単位分数と、$3/4$と$2/3$が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。(27% 差-11ポイント) ・数直線上に示された数を分数で書く。(11% 差-3ポイント)

【中学校3年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

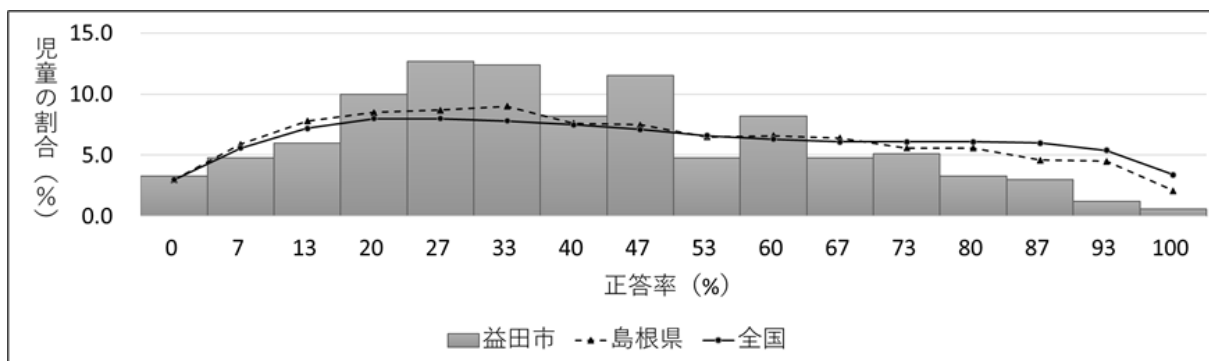


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県	
教科総合		51	54	▽	-3	53	-2
内 容	言葉の特徴や使い方に関する事項	42	48	▽	-6	48	▽
	話すこと・聞くこと	50	53	▽	-3	52	-1
	書くこと	49	53	▽	-4	52	▽
	読むこと	60	62		-2	61	-1

- ・市平均正答率は51%であり、全国よりも3ポイント下回っている。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」に係る設問の正答率が、全国平均を6ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・変換した漢字として適切なものを選択する（かいしん）。（－8ポイント） ・ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する。（－7ポイント） ・「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する。（－6ポイント） ・物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する。（－6ポイント） ・手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する。（－7ポイント）	・手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する。（36% 差－2ポイント）

【中学校3年生 数学】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

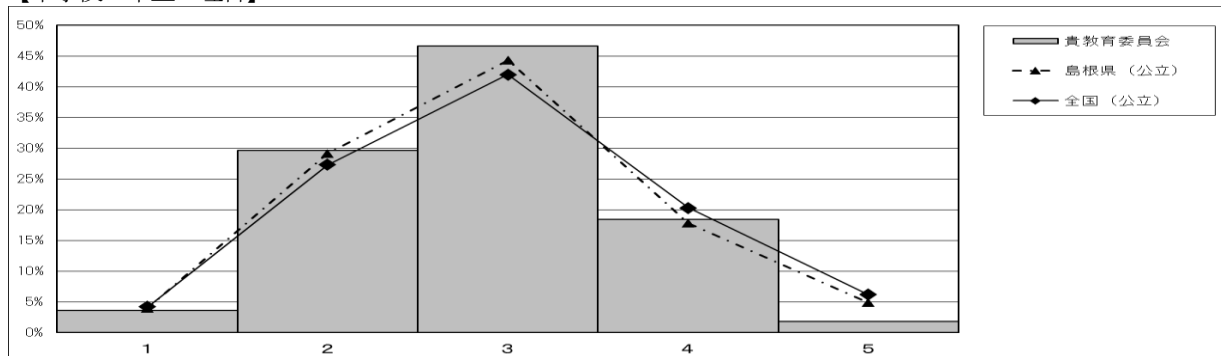


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県		
教科総合		41	48	▽	－7	46	▽	－5
領域	数と式	34	44	▽	－10	40	▽	－6
	図形	38	47	▽	－9	44	▽	－7
	関数	44	48	▽	－5	45		－1
	データの活用	54	59	▽	－5	58	▽	－5

- ・市平均正答率は41%であり、全国より7ポイント下回っている。
- ・「数と式」が全国平均よりも10ポイント下回っており、もともと全国平均と差の大きい領域である。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・1～9までの数の中から素数を全て選ぶ。(－16ポイント) ・果汁40%の飲み物amLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す。(－8ポイント) ・△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める。(－9ポイント) ・一次関数$y=6x+5$について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める。(－10ポイント) ・ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める。(－12ポイント) ・$3n$と$3n+3$の和を$2(3n+1)+1$と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する。(－9ポイント) ・連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する。(－17ポイント) ・Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」で、1回目にAが勝つ確率を書く。(－3ポイント) ・A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する。(－3ポイント) ・四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ。(－8ポイント) ・条件を変更しても四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する。(－12ポイント) ・構想に基づいて四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する。(－6ポイント)	・果汁40%の飲み物amLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す。(11% 差-3ポイント) ・連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する。(25% 差-5ポイント) ・A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する。(37% 差-2ポイント)

【中学校3年生 理科】



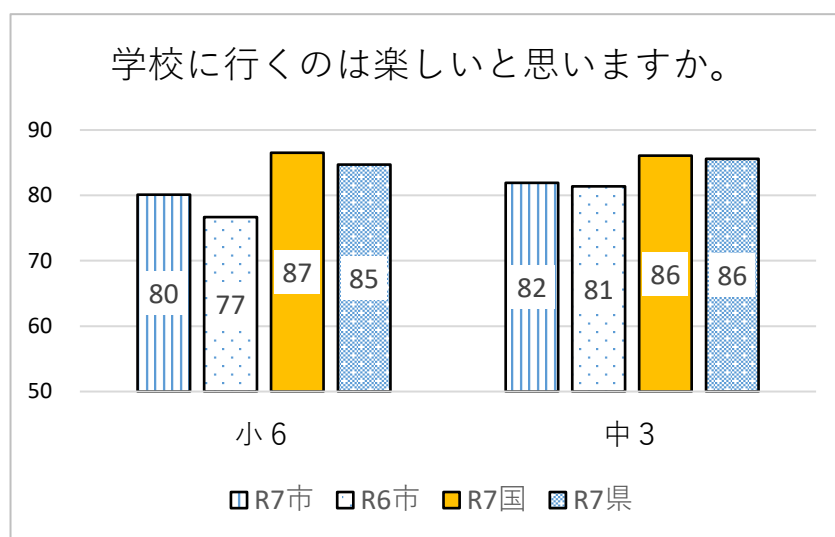
	益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
IRTスコア	488	503	-15	494	-6

- ・平均IRT スコアは 488 である。
- ・IRT バンド分布グラフは、全国と比較すると、「2」「3」の割合が高く、「4」「5」の割合が低い。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率の全国との差
・クリーンルームのほかに気圧を利用している身近な事象を選択する。（－19 ポイント） ・設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する。（－16 ポイント） ・牧野富太郎の「サクユリ」のスケッチから、サクユリの【茎の断面の横断面図】、【根】として適切なものを判断し、選択する。（－15 ポイント） ・【予想】から学習した内容が反映された A さん【振り返り】を読み、A さんの【予想】を判断し、選択する。（－12 ポイント） ・【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する。（－8 ポイント） ・プロパンガスと都市ガスでシャボン玉を作った時の様子から、プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大きさを判断し、小さい順に並べる。（－7 ポイント） ・電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する。（－6 ポイント） ・生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する。（－6 ポイント） ・加熱を伴う実験において、火傷をした時の適切な応急処置を選択する。（－6 ポイント） ・大地の変化に関する言い伝えを1つ選択し、その選択した言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を「地層を調べたときに何がわかればよいのか」に着目して記述する。（－6 ポイント） ・地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する。（－5 ポイント）	・実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているか判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す。（9% 差－5 ポイント）

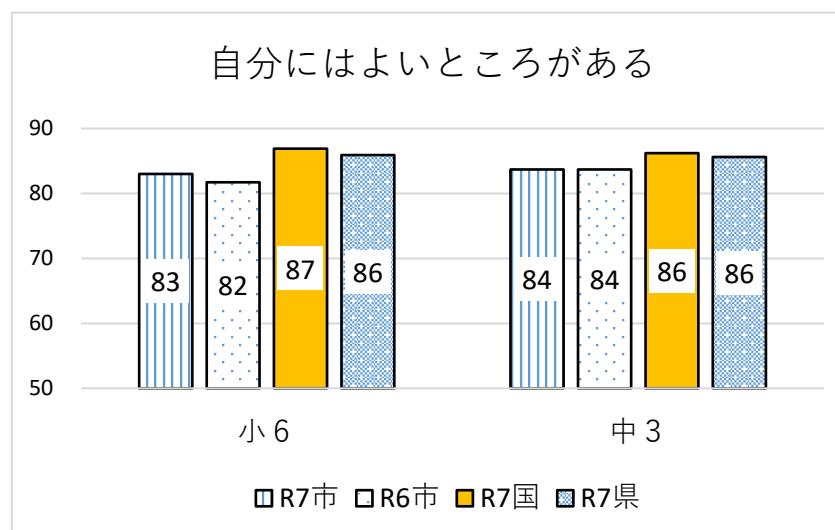
V 児童生徒質問紙（生活・学習に関する意識調査）及び学校質問紙調査の結果

（1）学校が楽しい



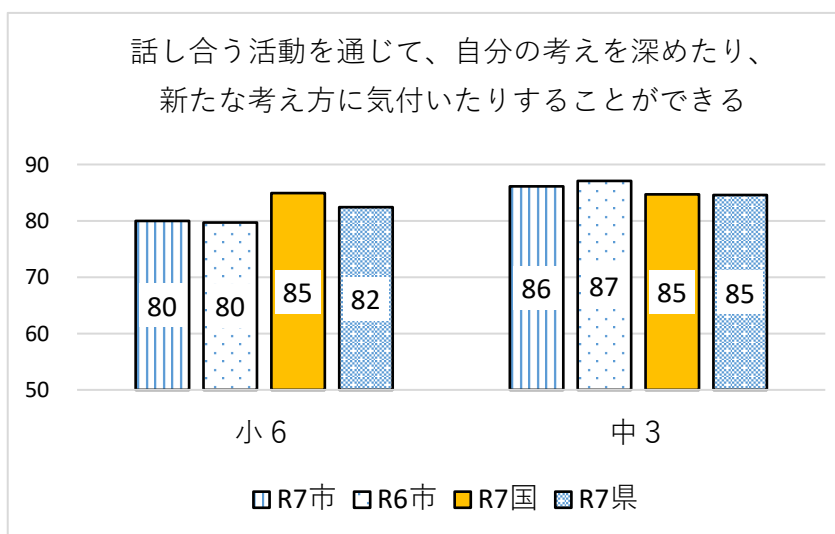
- ・小6については、全国平均よりも7ポイント低く、県平均よりも5ポイント低かった。令和6年度よりも3ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均、県平均よりも4ポイント低かった。令和6年度よりも1ポイント高かった。

（2）自分にはよいところがある



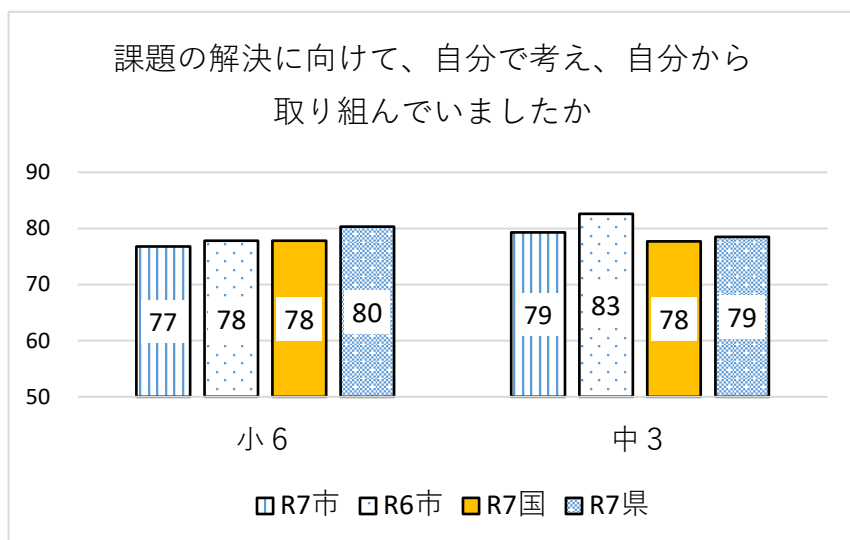
- ・小6については、全国平均よりも4ポイント低く、県平均よりも3ポイント低かった。令和6年度よりも1ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均、県平均よりも2ポイント低かった。令和6年度と同水準であった。

（3）話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる



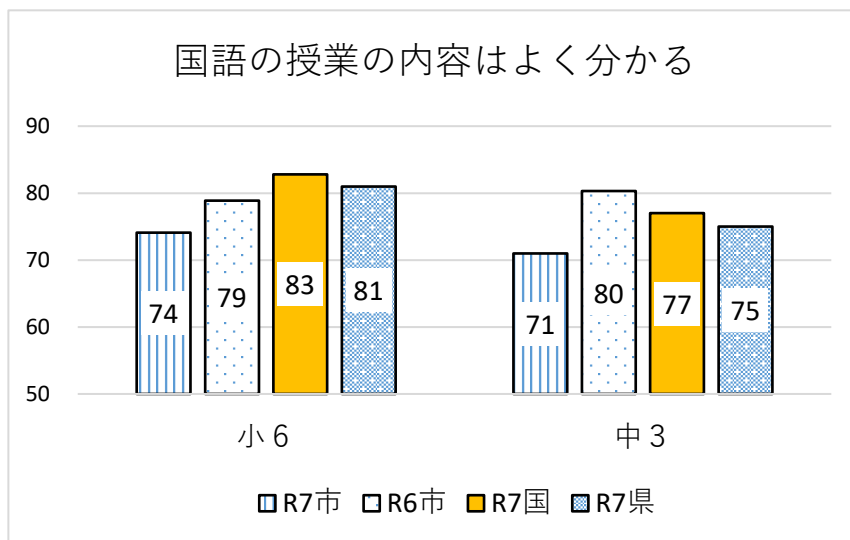
- ・小6については、全国平均よりも5ポイント低く、県平均よりも2ポイント低かった。令和6年度と同水準であった。
- ・中3については、全国平均、県平均よりも1ポイント高かった。令和6年度よりも1ポイント低かった。

(4) 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



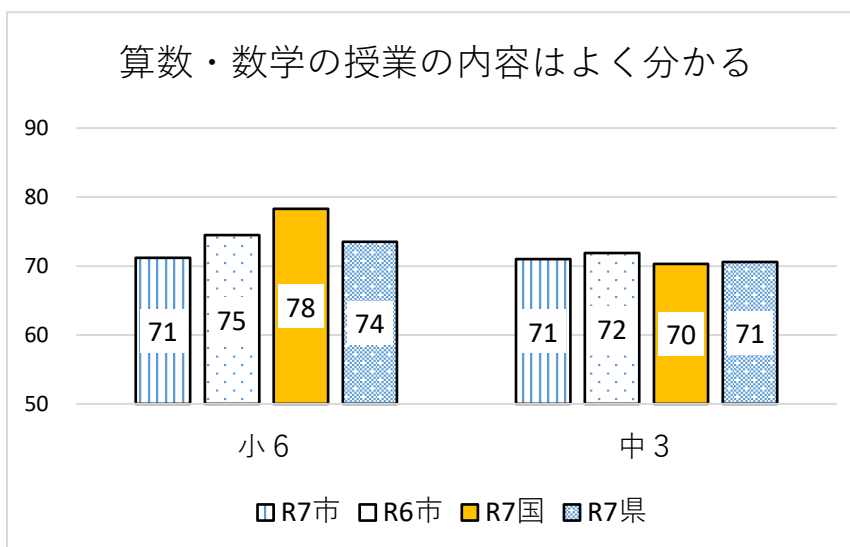
- ・小6については、全国平均よりも1ポイント低く、県平均よりも3ポイント低かった。令和6年度よりも1ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも1ポイント高く、県平均と同水準であった。令和6年度よりも4ポイント低かった。

(5) 国語の授業はよく分かる



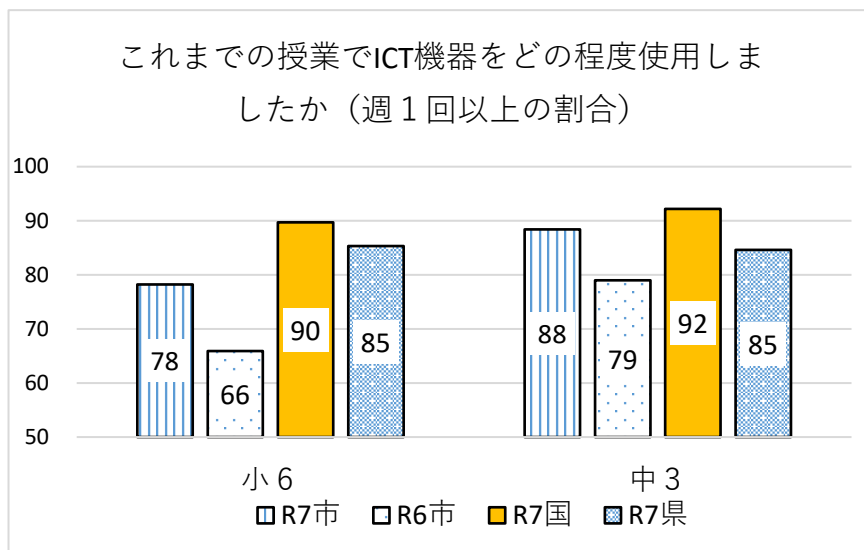
- ・小6については、全国平均よりも9ポイント低く、県平均よりも7ポイント低かった。令和6年度よりも5ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも6ポイント低く、県平均よりも4ポイント低かった。令和6年度よりも9ポイント低かった。

(6) 算数・数学の授業はよく分かる



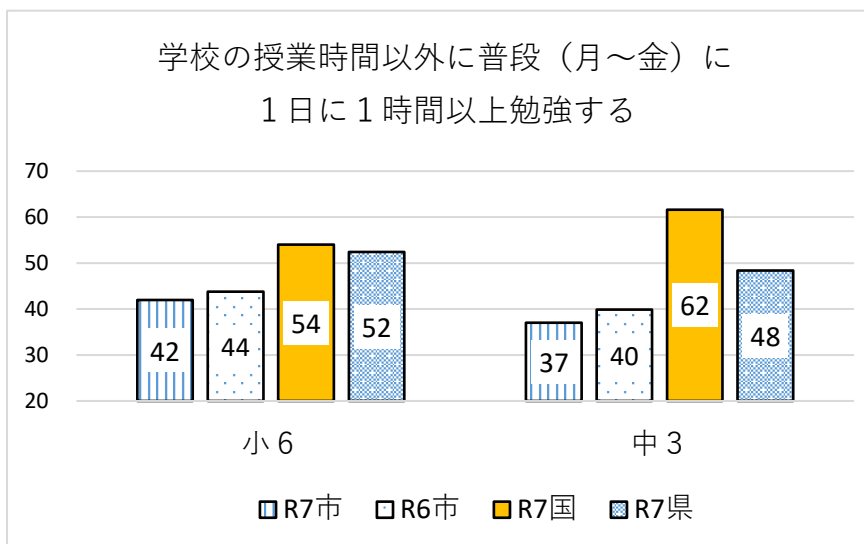
- ・小6については、全国平均よりも7ポイント低く、県平均よりも3ポイント低かった。令和6年度よりも4ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも1ポイント高く、県平均と同水準であった。令和6年度よりも1ポイント低かった。

(7) ICT の活用の充実



- ・小6については、全国平均よりも12ポイント低く、県平均より7ポイント低かった。令和6年度よりも12ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも4ポイント低く、県平均より3ポイント高かった。令和6年度より9ポイント高かった。

(8) 平日の家庭学習時間



- ・小6については、全国平均よりも12ポイント低く、県平均より10ポイント低かった。令和6年度よりも2ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも25ポイント低く、県平均よりも11ポイント低かった。令和6年度よりも3ポイント低かった。